

SANNIX

for Energy, for Environment

Photovoltaic Solution

Total Sanitation

Environmental Resources Development

2018年3月期 第2四半期 決算説明会

株式会社サニックス

2017年 11月14日

1. 2018年3月期 第2四半期 決算概況 P.3

2. 2018年3月期 通期 業績見通し P.16

【免責事項】

本資料には、将来の業績予測に関する記述が含まれています。こうした将来の業績予測に関する記述は、将来業績を保証することを意図するものではなく、一定の前提条件と経営陣の現時点で入手可能な情報による判断に基づくものです。従いまして、以下の要因をはじめとする様々な要因により、将来時点における実際の収益及び業績は、業績予測に関する記述と大きく異なる可能性があります。

日本の景気動向、「再生可能エネルギーの固定買取制度」の動向および当該制度に関わる電力会社の動向、他の業者との競争環境、技術革新、規制環境、法律環境及びその他の当社の予測を超える様々な要因。

本資料は当社が発行する証券への投資を勧誘することを企図した資料ではありません。本資料に含まれる情報に基づいて発生した損失・債務に関して、当社は一切の責任を負わない旨をご了承下さい。

(注)

- ・ 数値については、単位未満を切り捨てて表示しております。
- ・ 営業利益、経常利益、当期純利益の”△”表記は、それぞれ営業損失、経常損失、当期純損失を表します。
- ・ 比率がマイナスあるいは100%を超える値の場合「－」で表示しております。



for Energy, for Environment
Photovoltaic Solution
Total Sanitation
Environmental Resources Development

1. 2018年3月期 第2四半期 決算概況

第2四半期 連結決算概況

(単位：百万円)

	2017/3期	2018/3期				
	2Q 累計実績	2Q累計実績	前年同期比	前年同期差異	計画	計画差異
売上高	23,651	24,162	102.2%	+ 510	23,656	+ 506
売上総利益	6,707	6,685	99.7%	Δ 22	6,328	+ 357
(売上高売上総利益率)	28.4%	27.7%			26.8%	
営業利益	103	138	133.9%	+ 35	80	+ 58
(売上高営業利益率)	0.4%	0.6%			0.3%	
経常利益	202	Δ 29	—	Δ 231	0	Δ 29
(売上高経常利益率)	0.9%	—			0.0%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	Δ 146	Δ 155	—	Δ 9	Δ 100	Δ 55
(売上高四半期純利益率)	—	—			—	

- ①売上高 太陽光発電市場の規模縮小による影響を受けS E事業部門は減収となった。しかしながら、人員等経営資源の適正配置を進め、営業体制等を強化したことによりH S事業部門、E S事業部門がそれぞれ増収となった。また、新電力事業が拡大したことにより環境資源開発事業部門が増収となった。この結果、グループ全体の売上高は24,162百万円（前年同期比2.2%増）となった。
- ②利益 当第2四半期連結累計期間において苫小牧発電所の法定点検、修繕工事を実施したため、環境資源開発事業部門が大幅な減益となったが、他の3事業部門は、経営合理化等による経費削減、材料原価低減などが進み、収益性が改善した。この結果、グループ全体の損益は、138百万円の営業利益（前年同期比33.9%増）、為替差損28百万円、店舗等の統廃合による雑損失44百万円を計上したことを主因として、29百万円の経常損失（前年同期は202百万円の経常利益）、155百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失（前年同期は146百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となった。

第2四半期 セグメント別損益実績

(単位：百万円)

	2017/3期		2018/3期				
	2Q 累計実績	売上比	2Q累計実績	売上比	前年同期比	計画差異	計画売上比
売上高	23,651		24,162		102.2%	+ 506	
S E 部門	11,972	50.6%	8,716	36.1%	72.8%	Δ 445	38.7%
H S 部門	3,319	14.0%	4,611	19.1%	138.9%	+ 608	16.9%
E S 部門	489	2.1%	685	2.8%	140.0%	+ 110	2.4%
環境資源開発部門	7,870	33.3%	10,149	42.0%	129.0%	+ 233	41.9%
売上総利益	6,707	28.4%	6,685	27.7%	99.7%	+ 357	26.8%
販売費・一般管理費	6,604	27.9%	6,546	27.1%	99.1%	+ 298	26.4%
営業利益	103	0.4%	138	0.6%	133.9%	+ 58	0.3%
S E 部門	385	(3.2%)	937	(10.8%)	243.3%	Δ 130	(11.7%)
H S 部門	513	(15.5%)	749	(16.3%)	146.1%	+ 184	(14.1%)
E S 部門	30	(6.2%)	98	(14.4%)	326.9%	+ 76	(3.8%)
環境資源開発部門	577	(7.3%)	Δ 57	—	—	Δ 92	(0.4%)
配賦不能	Δ 1,402	—	Δ 1,590	—	—	+ 19	—

・各セグメントの営業利益の売上比は、各セグメントの売上高に対する比率を()内に表示しております。

【参考】セグメント別四半期実績の推移

(単位：百万円)

	2017/3期				2018/3期			
	3Q		4Q		1Q		2Q	
	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比
売上高	12,982		14,321		12,098		12,063	
S E 部門	6,624	51.0%	7,628	53.3%	4,500	37.2%	4,215	34.9%
H S 部門	1,622	12.5%	1,620	11.3%	2,329	19.3%	2,281	18.9%
E S 部門	256	2.0%	287	2.0%	310	2.6%	375	3.1%
環境資源開発部門	4,478	34.5%	4,785	33.4%	4,957	41.0%	5,191	43.0%
売上総利益	3,775	29.1%	3,660	25.6%	3,722	30.8%	2,963	24.6%
販売費・一般管理費	3,203	24.7%	3,298	23.0%	3,325	27.5%	3,220	26.7%
営業利益	571	4.4%	361	2.5%	396	3.3%	△ 257	—
S E 部門	861	(13.0%)	421	(5.5%)	442	(9.8%)	495	(11.8%)
H S 部門	253	(15.6%)	212	(13.1%)	402	(17.3%)	347	(15.2%)
E S 部門	25	(9.8%)	39	(13.7%)	40	(12.9%)	58	(15.6%)
環境資源開発部門	100	(2.2%)	351	(7.3%)	338	(6.8%)	△ 395	—
配賦不能	△ 670	—	△ 662	—	△ 826	—	△ 763	—

・各セグメントの営業利益の売上比は、各セグメントの売上高に対する比率を()内に表示しております。

【参考】SE・HS・ES 人員の状況（単体）

事業部門間の人員の異動を実施

太陽光発電市場の縮小に即した体制構築、HS事業並びにES事業の再強化を基本に、バランスのとれた経営資源の配分を行うべく、4月にSE事業部門からHS事業部門並びにES事業部門へ人員の異動を実施。また当第2四半期についても、漸次、状況に応じた体制の整備を行った。

【SE・HS・ES統括本部下の人員（単体）】

	2017/3期	2018/3期		3月末比増減	6月末比増減
	3月末	6月末	9月末		
SE	642	480	448	△ 194	△ 32
HS	341	437	446	+ 105	+ 9
ES	59	69	74	+ 15	+ 5
統括	—	29	32	+ 32	+ 3
合計	1,042	1,015	1,000	△ 42	△ 15

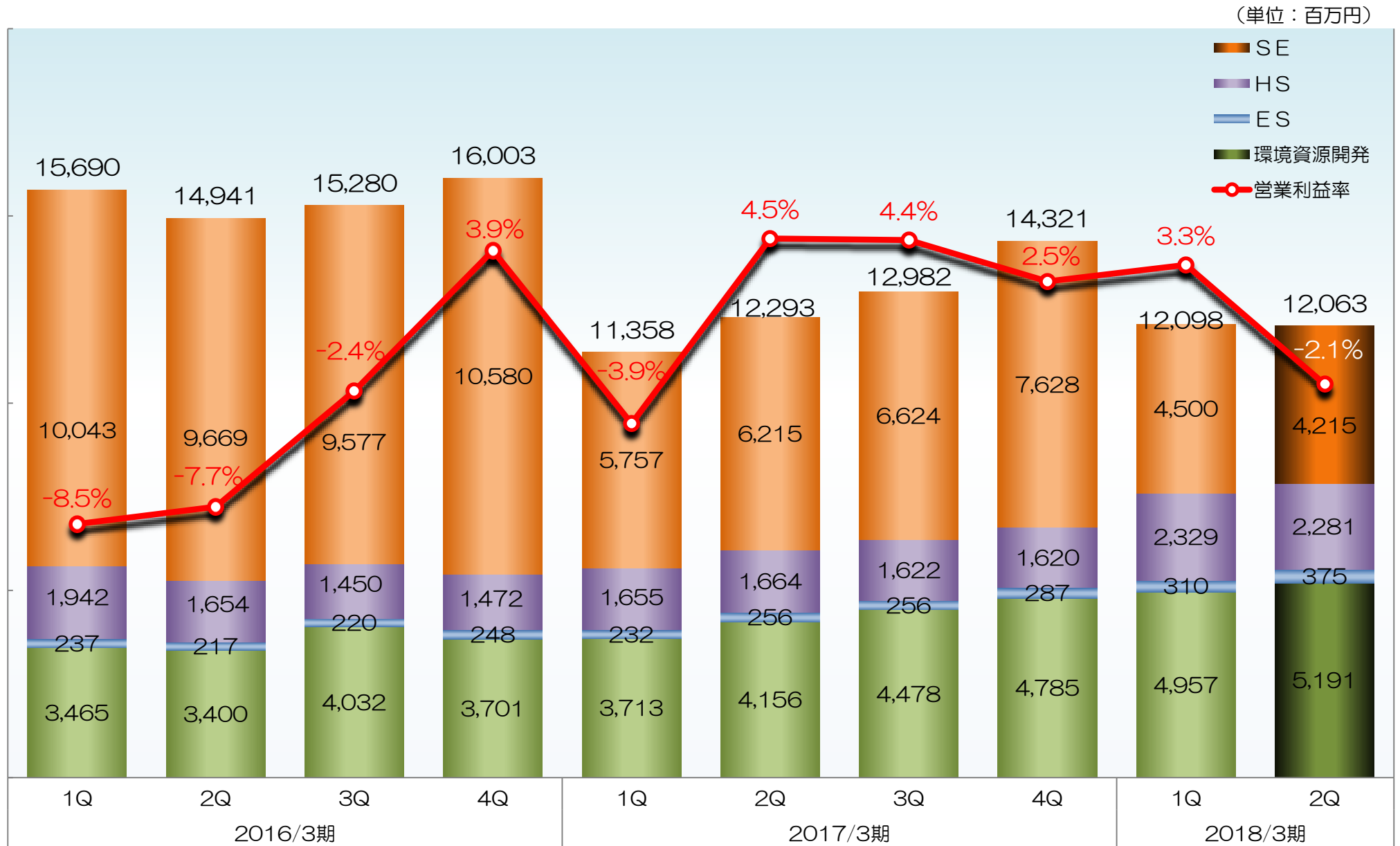
営業	135	100	100	△ 35	0
技術	350	289	260	△ 90	△ 29
事務	157	91	88	△ 69	△ 3
SE計	642	480	448	△ 194	△ 32

営業	103	158	155	+ 52	△ 3
技術	183	190	203	+ 20	+ 13
事務	55	89	88	+ 33	△ 1
HS計	341	437	446	+ 105	+ 9

営業	20	21	21	+ 1	0
技術	28	32	36	+ 8	+ 4
事務	11	16	17	+ 6	+ 1
ES計	59	69	74	+ 15	+ 5

営業	—	8	8	+ 8	0
技術	—	—	3	+ 3	+ 3
事務	—	21	21	+ 21	0
統括計	—	29	32	+ 32	+ 3

セグメント別売上高の推移



第2四半期 セグメント別実績【SE事業部門】

(単位:百万円)

	2017/3期		2018/3期				
	2Q 累計実績	売上比	2Q累計実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高合計	11,972		8,716		72.8%	9,162	
太陽光発電システム							
施工売上	11,010	92.0%	7,992	91.7%	72.6%	8,750	95.5%
卸販売	900	7.5%	576	6.6%	64.0%	350	3.8%
その他	61	0.5%	147	1.7%	238.6%	61	0.7%
売上原価	8,698	72.6%	5,737	65.8%	66.0%	6,183	67.5%
うち、材料費等 [※]	6,068	50.7%	3,659	42.0%	60.3%	4,030	44.0%
うち、労務費	1,262	10.5%	773	8.9%	61.3%	926	10.1%
売上総利益	3,274	27.4%	2,978	34.2%	91.0%	2,979	32.5%
販売費・一般管理費	2,889	24.1%	2,040	23.4%	70.6%	1,911	20.9%
うち、人件費	1,087	9.1%	869	10.0%	79.9%	777	8.5%
その他	1,801	15.0%	1,171	13.4%	65.0%	1,133	12.4%
営業利益	385	3.2%	937	10.8%	243.3%	1,068	11.7%

※材料費等は、材料費と消耗品費を合算しております。

改正F I T法を受け、付帯設備設置などメンテナンス事業に注力したが、産業用太陽光発電の市場規模縮小による影響が大きく、同システムを施工、設置する件数が減少し、「太陽光発電システム」施工売上は前年同期比27.4%減となった。この結果、売上高は8,716百万円(前年同期比27.2%減)となった。

営業損益は、大幅な減収となったものの、経営合理化による経費削減、材料原価の低減、人員減による人件費減少等が進んだことで収益性が改善し、937百万円の営業利益(前年同期比143.3%増)となった。

【参考】SE事業部門損益の四半期推移

(単位:百万円)

	2017/3期				2018/3期			
	3Q		4Q		1Q		2Q	
	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比
売上高	6,624		7,628		4,500		4,215	
売上原価	4,367	65.9%	5,736	75.2%	2,998	66.6%	2,738	65.0%
材料費等※	2,995	45.2%	4,256	55.8%	1,901	42.3%	1,757	41.7%
労務費	496	7.5%	494	6.5%	403	9.0%	370	8.8%
外注加工費	340	5.1%	445	5.8%	227	5.1%	196	4.7%
その他	534	8.1%	540	7.1%	465	10.4%	414	9.8%
売上総利益	2,257	34.1%	1,891	24.8%	1,501	33.4%	1,476	35.0%
販売費・一般管理費	1,395	21.1%	1,469	19.3%	1,059	23.5%	980	23.3%
人件費	511	7.7%	594	7.8%	439	9.8%	430	10.2%
その他	883	13.3%	874	11.5%	620	13.8%	550	13.1%
営業利益	861	13.0%	421	5.5%	442	9.8%	495	11.8%

※ 材料費等は、材料費と消耗品費を合算しております。

第2四半期 セグメント別実績【HS事業部門】

(単位：百万円)

	2017/3期		2018/3期				
	2Q 累計実績	売上比	2Q累計実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高	3,319		4,611		138.9%	4,003	
白蟻防除施工	1,211	36.5%	1,364	29.6%	112.6%	1,449	36.2%
床下・天井裏換気システム	486	14.7%	635	13.8%	130.6%	510	12.7%
基礎補修・家屋補強工事	287	8.7%	911	19.8%	317.2%	525	13.1%
その他	1,333	40.2%	1,699	36.9%	127.4%	1,517	37.9%
売上原価	1,631	49.1%	2,087	45.3%	128.0%	1,900	47.5%
うち、労務費	474	14.3%	606	13.2%	127.7%	468	11.7%
売上総利益	1,688	50.9%	2,523	54.7%	149.5%	2,103	52.5%
販売費・一般管理費	1,175	35.4%	1,774	38.5%	151.0%	1,538	38.4%
うち、人件費	834	25.1%	1,131	24.5%	135.5%	1,053	26.3%
営業利益	513	15.5%	749	16.3%	146.1%	565	14.1%

HS事業の規模拡大を目的に事業部間の異動による人員増を図り、営業体制、顧客管理体制を強化、拡充することに注力し、「白蟻防除施工」は前年同期比12.6%増、「床下・天井裏換気システム」は前年同期比30.6%増、「基礎補修・家屋補強工事」は前年同期比217.2%増となった。この結果、売上高は4,611百万円（前年同期比38.9%増）となった。

営業損益は、増収幅が大きかったことにより、人員増を主因とした固定費の増加を吸収し、749百万円の営業利益（前年同期比46.1%増）となった。

限界利益率・損益分岐売上高の推移

■SE事業部門の推移

	2017/3期 実績		2018/3期			
	上半期	下半期	1Q 実績	2Q 実績	上半期 実績	上半期 計画
限界利益率 (%)	42.8	45.9	48.4	49.2	48.8	48.2
月平均固定費 (百万円/月)	788	746	578	525	551	558
損益分岐売上高 (百万円/月)	1,844	1,625	1,193	1,067	1,130	1,158

2017/3期下半期の限界利益率については、材料費に含まれる棚卸資産評価損777百万円は除く。

■HS事業部門の推移

	2017/3期 実績		2018/3期			
	上半期	下半期	1Q 実績	2Q 実績	上半期 実績	上半期 計画
限界利益率 (%)	68.3	67.6	71.2	70.5	70.8	67.6
月平均固定費 (百万円/月)	290	287	399	412	405	349
損益分岐売上高 (百万円/月)	425	425	561	584	573	517

※ 売上高に占める変動費(材料費・外注加工費・運賃等)を引いた利益率を限界利益率として表示。

損益分岐売上高 = 固定費 ÷ 限界利益率

第2四半期 セグメント別実績【ES事業部門】

(単位：百万円)

	2017/3期		2018/3期				
	2Q 累計実績	売上比	2Q累計実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高	489		685		140.0%	575	
売上原価	305	62.5%	354	51.7%	115.8%	364	63.3%
うち、労務費	79	16.2%	87	12.7%	109.9%	88	15.3%
売上総利益	183	37.5%	331	48.3%	180.3%	211	36.7%
販売費・一般管理費	153	31.3%	232	33.9%	151.5%	189	32.9%
うち、人件費	93	19.1%	143	21.0%	153.8%	118	20.6%
営業利益	30	6.2%	98	14.4%	326.9%	22	3.8%

ES事業の規模拡大を目的に事業部間の異動による人員増を図り、営業体制を強化するとともに、ビル・マンション向けの建物維持保全に係る商品に注力し、主力商品である「防錆機器取付施工」は前年同期比571.3%増、「建物給排水補修施工」は前年同期比22.9%増となった。この結果、売上高は685百万円（前年同期比40.0%増）となった。

営業損益は、増収幅が大きかったことにより、人員増を主因とした固定費の増加を吸収し、98百万円の営業利益（前年同期比226.9%増）となった。

第2四半期 セグメント別実績【環境資源開発事業部門】

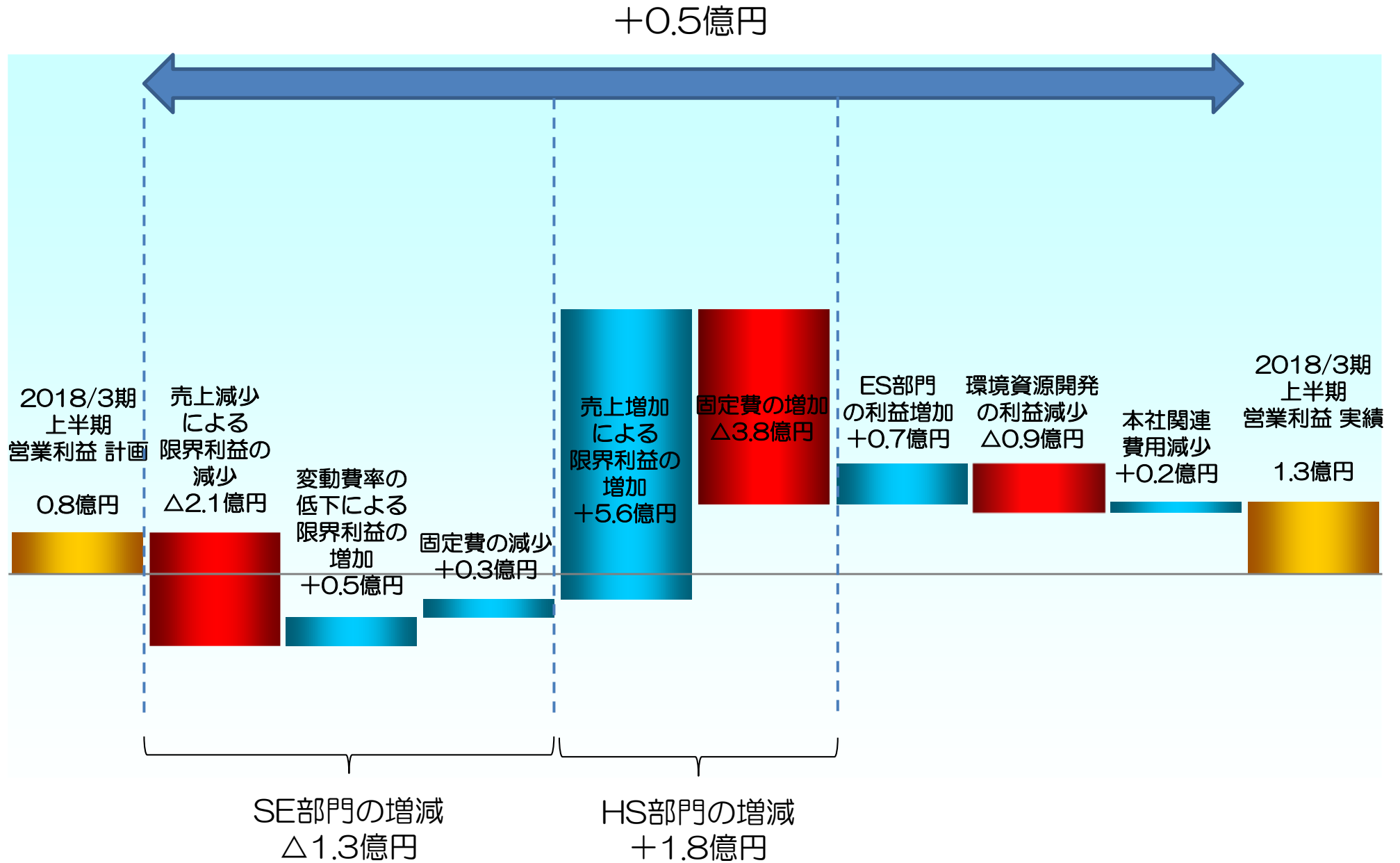
(単位：百万円)

	2017/3期		2018/3期				
	2Q 累計実績	売上比	2Q累計実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高合計	7,870		10,149		129.0%	9,916	
プラスチック燃料	3,449	43.8%	3,672	36.2%	106.4%	3,618	36.5%
売電収入	2,789	35.4%	4,878	48.1%	174.9%	4,773	48.1%
（うち新電力事業収入）	886	11.3%	3,391	33.4%	382.7%	3,026	30.5%
有機廃液処理	858	10.9%	889	8.8%	103.7%	850	8.6%
埋立処理	382	4.9%	359	3.5%	93.9%	311	3.1%
その他	389	4.9%	349	3.4%	89.8%	363	3.7%
売上原価	6,309	80.2%	9,297	91.6%	147.4%	8,881	89.6%
売上総利益	1,561	19.8%	851	8.4%	54.6%	1,035	10.4%
販売費・一般管理費	983	12.5%	908	9.0%	92.4%	1,000	10.1%
営業利益	577	7.3%	△57	—	—	35	0.4%

「プラスチック燃料」は前年同期比6.4%増、「有機廃液処理」は前年同期比3.7%増となり、新電力事業における売電契約先が増加したことを主因に「売電収入」は前年同期比74.9%増となった。この結果、売上高は10,149百万円（前年同期比29.0%増）となった。

営業損益は、苫小牧発電所において2年に一度の法定点検及び毎年行う定期修繕を当期は当第2四半期連結累計期間に実施した影響により、同発電所における売電収入が減少し、法定点検費及び修繕費等が増加したことを主因に、57百万円の営業損失（前年同期は577百万円の営業利益）57百万円の営業損失（前年同期は577百万円の営業利益）となった。

【参考】 営業利益 増減理由 (上半期 計画対実績)





for Energy, for Environment
Photovoltaic Solution
Total Sanitation
Environmental Resources Development

2. 2018年3月期 通期 業績見通し

通期業績見通しに変更はありません。

(単位：百万円)

	2017/3期	2018/3期		
	実績	計画	前期比	前期差異
売上高	50,955	47,680	93.6%	△ 3,275
売上総利益	14,142	13,440	95.0%	△ 702
(売上高売上総利益率)	27.8%	28.2%		
営業利益	1,036	1,210	116.7%	+ 173
(売上高営業利益率)	2.0%	2.5%		
経常利益	907	1,090	120.2%	+ 182
(売上高経常利益率)	1.8%	2.3%		
親会社株主に帰属する 当期純利益	416	810	194.7%	+ 393
(売上高当期純利益率)	0.8%	1.7%		



2018年3月期の連結業績予想については、5月11日に公表した連結業績予想に変更はありません。

中期経営計画2年目の当期は、太陽光発電事業における事業環境に対応し、事業体制をより一層強化すべく、組織改編や事業部間の人員の異動を行い、引き続き持続的な黒字化、継続的な成長を図ることにより、4事業からの安定的な収益を実現していく。

2018年3月期 セグメント別業績見通し

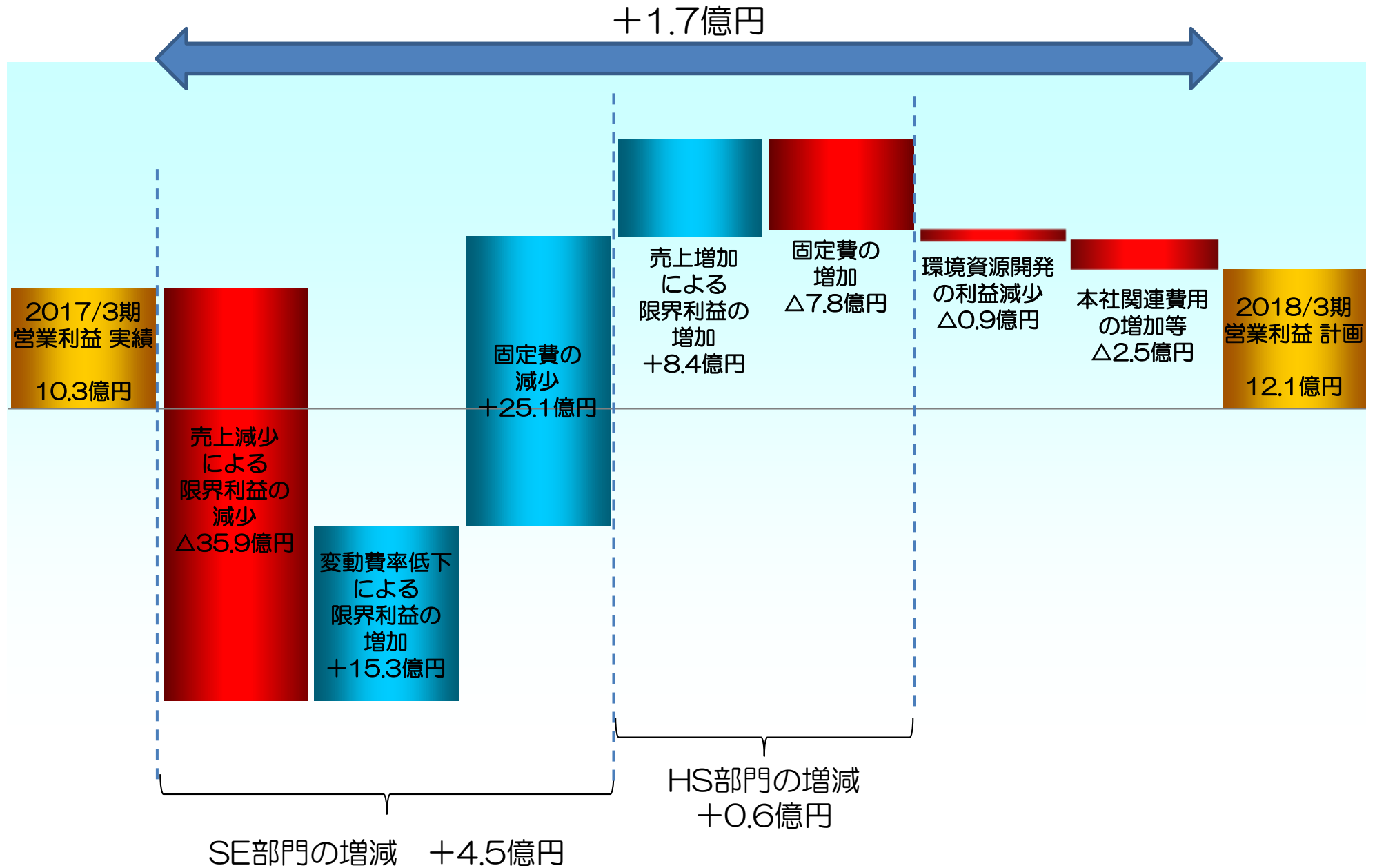
通期業績見通しに変更はありません。

(単位:百万円)

	2017/3期		2018/3期					
	通期		2Q累計期間			通期		
	実績	売上比	実績	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前期差異
売上高	50,955		24,162		+ 510	47,680		Δ 3,275
SE部門	26,225	51.5%	8,716	36.1%	Δ 3,256	18,153	38.1%	Δ 8,072
HS部門	6,562	12.9%	4,611	19.1%	+ 1,292	7,857	16.5%	+ 1,294
ES部門	1,033	2.0%	685	2.8%	+ 195	1,269	2.7%	+ 235
環境資源開発部門	17,133	33.6%	10,149	42.0%	+ 2,279	20,401	42.8%	+ 3,267
売上総利益	14,142	27.8%	6,685	27.7%	Δ 22	13,440	28.2%	Δ 702
販売費・一般管理費	13,106	25.7%	6,546	27.1%	Δ 57	12,230	25.7%	Δ 876
営業利益	1,036	2.0%	138	0.6%	+ 35	1,210	2.5%	+ 173
SE部門	1,669	(6.4%)	937	(10.8%)	+ 552	2,127	(11.7%)	+ 457
HS部門	979	(14.9%)	749	(16.3%)	+ 236	1,038	(13.2%)	+ 58
ES部門	94	(9.2%)	98	(14.4%)	+ 68	99	(7.8%)	+ 4
環境資源開発部門	1,029	(6.0%)	Δ57	—	Δ 634	940	(4.6%)	Δ 89
配賦不能	Δ2,735	—	Δ1,590	—	Δ 187	Δ2,994	—	Δ 258
経常利益	907	1.8%	Δ29	—	Δ 231	1,090	2.3%	+ 182
親会社株主に帰属 する当期純利益	416	0.8%	Δ155	—	Δ 9	810	1.7%	+ 393

・各セグメントの営業利益の売上比は、各セグメントの売上高に対する比率を()内に表示しております。

【参考】 営業利益 増減理由 (前期実績 対 今期計画)



今期の課題

SE事業部門

- ・市場縮小に適した体制の構築
- ・法令改正等による市場環境の変化への対応

HS事業部門

- ・顧客減少抑制の管理体制整備
- ・新商品導入による顧客提案メニューの増加

ES事業部門

- ・紹介案件増に向けアライアンスの拡大・強化
- ・防錆機器の販売強化

環境資源開発事業部門

- ・廃プラスチック受入量の回復
- ・発電所の効率的な稼働
- ・新電力事業の採算性向上

本社部門

- ・部門間の連携強化
- ・今後の成長にむけた企画部門の強化・充実

現在の進捗状況

- ・法令改正後、事業計画申請から認定までの期間が数ヶ月遅延しており、特に今年度新たに申請している案件の着工に遅れが生じている
- ・材料費を中心にコスト低減は着実に進んでおり、今期の利益確保とともに、今後の買取価格低減にも対応する

- ・顧客管理の強化によって既存顧客の回復に一定の成果が出ており、今後は新規開拓の取組みも積極的に進める
- ・更なる売上拡大を目指し、新商品・新サービスの展開を適時進める

- ・人員増加により顧客管理の強化を図った結果、上半期では防錆機器の販売拡大に成果が出た
- ・ビル・マンション管理会社を中心にアライアンスを行っており、今後の売上基盤として更に拡大を図る

- ・廃プラスチック受入単価改善は進んでいるが、受入量は受入単価値上げ前の水準に回復できていない
- ・発電所の法定点検は第2四半期に計画どおり終了
- ・新電力事業は、調達コスト低減のため調達比率の見直しを進める

- ・部門横断のコスト削減プロジェクトを立上げ、短期・中長期両面でのコスト削減策を実行する

通期業績見通しに変更はありません。

(単位:百万円)

	2017/3期		2018/3期					
	通期		2Q累計期間			通期		
	実績	売上比	実績	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前期差異
売上高合計	26,225		8,716		Δ 3,256	18,153		Δ 8,072
太陽光発電システム								
施工売上	24,228	92.4%	7,992	91.7%	Δ 3,018	17,400	95.9%	Δ 6,828
卸販売	1,889	7.2%	576	6.6%	Δ 324	650	3.6%	Δ 1,239
その他	107	0.4%	147	1.7%	+ 85	102	0.6%	Δ 5
売上原価	18,802	71.7%	5,737	65.8%	Δ 2,960	12,207	67.2%	Δ 6,595
うち、材料費等※	13,320	50.8%	3,659	42.0%	Δ 2,409	7,954	43.8%	Δ 5,366
うち、労務費	2,253	8.6%	773	8.9%	Δ 489	1,854	10.2%	Δ 399
売上総利益	7,423	28.3%	2,978	34.2%	Δ 296	5,946	32.8%	Δ 1,477
販売費・一般管理費	5,754	21.9%	2,040	23.4%	Δ 848	3,819	21.0%	Δ 1,935
うち、人件費	2,194	8.4%	869	10.0%	Δ 218	1,579	8.7%	Δ 614
その他	3,559	13.6%	1,171	13.4%	Δ 630	2,239	12.3%	Δ 1,320
営業利益	1,669	6.4%	937	10.8%	+ 552	2,127	11.7%	+ 457

※材料費等は、材料費と消耗品費を合算しております。

SE事業部門は、太陽光発電事業の市場環境は依然として厳しく、前期比減収を見込んでいる。また、改正FIT法における事業計画申請に係る認証手続きの想定外の遅れによる工事着工のずれ込みが発生していたが、新規の案件についても契約が進んできたことから通期計画は変更しない。

利益については、人員配置見直しによる人件費やその他固定費低減に加え、部材等のコストダウンも概ね計画線上で進捗しており、通期計画は変更しない。

通期業績見通しに変更はありません。

(単位:百万円)

	2017/3期		2018/3期					
	通期		2Q累計期間			通期		
	実績	売上比	実績	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前期差異
売上高	6,562		4,611		+ 1,292	7,857		+ 1,294
白蟻防除施工	2,159	32.9%	1,364	29.6%	+ 152	2,652	33.8%	+ 492
床下・天井裏換気 システム	854	13.0%	635	13.8%	+ 149	1,001	12.8%	+ 147
基礎補修・ 家屋補強工事	582	8.9%	911	19.8%	+ 624	1,119	14.3%	+ 537
その他	2,965	45.2%	1,699	36.9%	+ 365	3,083	39.2%	+ 117
売上原価	3,276	49.9%	2,087	45.3%	+ 456	3,790	48.2%	+ 513
うち、労務費	950	14.5%	606	13.2%	+ 131	947	12.1%	△ 3
売上総利益	3,285	50.1%	2,523	54.7%	+ 835	4,067	51.8%	+ 781
販売費一般管理費	2,306	35.1%	1,774	38.5%	+ 599	3,029	38.6%	+ 722
うち、人件費	1,603	24.4%	1,131	24.5%	+ 296	2,101	26.7%	+ 497
営業利益	979	14.9%	749	16.3%	+ 236	1,038	13.2%	+ 58

HS事業部門は、SE事業部門からの異動による増員によって、既存顧客管理体制の強化が進んでおり、上半期売上高は前年同期に比し好調に推移した。下半期も現在の取り組みを継続しながら、新規顧客の開拓を強化し、通期計画の早期達成、及び上積みを目指す。

利益については、上半期は人員増及び売上高増などにより固定費は増加しているが、下半期も前年同期に対し増収幅を拡大させ人件費等の費用増を吸収することで、早期での通期計画達成、及び上積みを目指す。

【参考】限界利益率・損益分岐売上高の推移

■SE事業部門の推移

	2017/3期 実績			2018/3期	
	上半期	下半期	通期	上半期 実績	通期 計画
限界利益率 (%)	42.8	45.9	44.5	48.8	48.6
月平均固定費 (百万円/月)	788	746	767	551	558
損益分岐売上高 (百万円/月)	1,844	1,625	1,726	1,130	1,148

2017/3期 下半期・通期実績については、材料費に含まれる棚卸資産評価損777百万円は除く。

■HS事業部門の推移

	2017/3期 実績			2018/3期	
	上半期	下半期	通期	上半期実績	通期 計画
限界利益率 (%)	68.3	67.6	67.9	70.8	67.4
月平均固定費 (百万円/月)	290	287	288	405	350
損益分岐売上高 (百万円/月)	425	425	425	573	520

※ 売上高に占める変動費(材料費・外注加工費・運賃等)を引いた利益率を限界利益率として表示。

損益分岐売上高 = 固定費 ÷ 限界利益率

通期業績見通しに変更はありません。

(単位:百万円)

	2017/3期		2018/3期					
	通期		2Q累計期間			通期		
	実績	売上比	実績	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前期差異
売上高合計	1,033		685		+ 195	1,269		+ 235
売上原価	623	60.3%	354	51.7%	+ 48	784	61.8%	+ 160
うち、労務費	156	15.1%	87	12.7%	+ 7	178	14.0%	+ 21
売上総利益	410	39.7%	331	48.3%	+ 147	485	38.2%	+ 74
販売費・一般管理費	315	30.6%	232	33.9%	+ 78	386	30.4%	+ 70
うち、人件費	195	18.9%	143	21.0%	+ 50	239	18.9%	+ 43
営業利益	94	9.2%	98	14.4%	+ 68	99	7.8%	+ 4

ES事業部門は、SE事業部門からの異動による増員を図り、ビル・マンション等の管理会社とのアライアンス活動等を強化し、新規顧客の開拓、既存顧客のアフター体制を拡充しており、上半期売上高は前年同期に比し好調に推移した。下半期も現在の取り組みを継続、強化し、早期達成、及び上積みを目指す。

利益については、上半期は人員増及び売上高増などにより固定費は増加しているが、下半期も前年同期に対し増収幅を拡大させ人件費等の費用増を吸収することで、早期での通期計画達成、及び上積みを目指す。

通期業績見通しに変更はありません。

(単位:百万円)

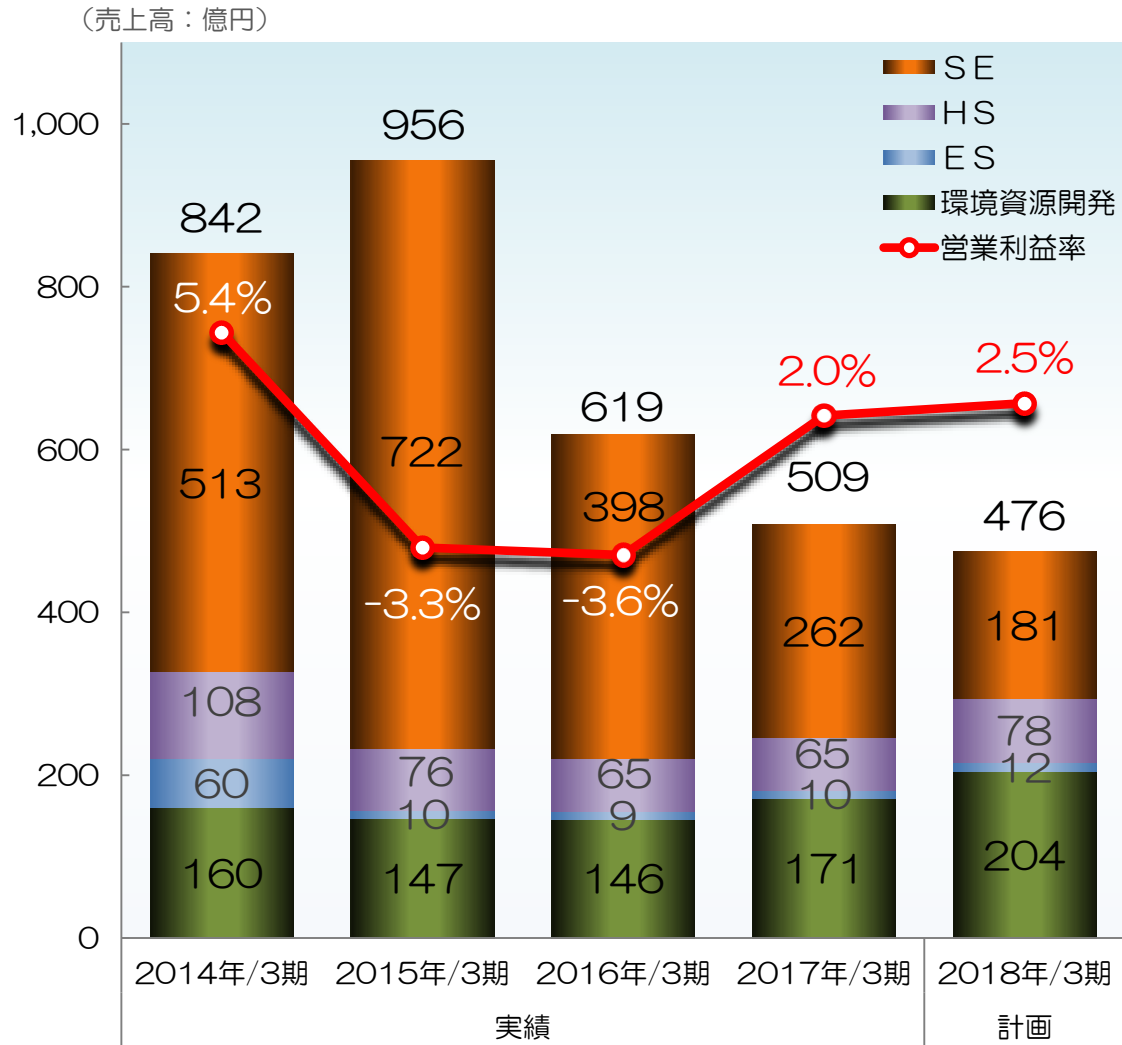
	2017/3期		2018/3期					
	通期		2Q累計期間			通期		
	実績	売上比	実績	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前期差異
売上高合計	17,133		10,149		+ 2,279	20,401		+ 3,267
プラスチック燃料	7,139	41.7%	3,672	36.2%	+ 222	7,361	36.1%	+ 222
売電収入	6,806	39.7%	4,878	48.1%	+ 2,088	10,045	49.2%	+ 3,238
(うち新電力事業収入)	2,925	17.1%	3,391	33.4%	+ 2,505	6,223	30.5%	+ 3,297
有機廃液処理	1,768	10.3%	889	8.8%	+ 31	1,743	8.5%	△ 25
埋立処理	648	3.8%	359	3.5%	△ 23	547	2.7%	△ 101
その他	770	4.5%	349	3.4%	△ 39	704	3.5%	△ 66
売上原価	14,110	82.4%	9,297	91.6%	+ 2,988	17,459	85.6%	+ 3,348
売上総利益	3,023	17.6%	851	8.4%	△ 709	2,942	14.4%	△ 81
販売費・一般管理費	1,994	11.6%	908	9.0%	△ 74	2,002	9.8%	+ 7
営業利益	1,029	6.0%	△ 57	—	△ 634	940	4.6%	△ 89

環境資源開発事業部門は、売上高について第2四半期累計でほぼ計画どおりに推移しており、第3四半期以降は苫小牧発電所が通常稼動に戻り、売電収入が回復する見込みであることから、通期計画は変更しない。

利益については、上半期に苫小牧発電所法定点検等の実施を主因として営業赤字となったが、下半期は同発電所が通常稼動することで、売電収入の増加、及び修繕費の大幅な減少によって利益は改善する見通しである。また、廃プラスチック類の受入単価改定による利益改善や、処分費等のコスト削減なども進む見通しであり、通期計画は変更しない。

通期業績見通しに変更はありません。

■2018年3月期セグメント別売上高・営業利益率の見通し



2018年3月期見通し

売上高：**47,680**百万円

営業利益：**1,210**百万円

営業利益率：**2.5%**

・2014/3期の実績については、SE事業部門は旧産業用PV部門の実績であり、HS・ES事業部門は太陽光発電システムの実績を含めて表示しております。